生計同一関係に関する申立書

新型コロナワクチン接種に係る健康被害救済制度

死亡一時金用（法律上の配偶者以外）

生計同一関係にあったことの申立

申立年月日：令和　　　 年　　　 月　　　 日 　　　　　※ この申立書の記入日を記載してください。

私と下記②の者は、下記②の者が亡くなった当時、生計を同じくしていました。

1. 請求される方の住所、氏名

住所

氏名

1. 亡くなった方の住所（亡くなった当時）、氏名

住所

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（①との続柄：　　　　　 ）

＊生計同一とは：申請者と死亡者の間に生活の一体性があること。必ずしも同居を必要としない。

生活費などを常に送金していた等があった場合は対象となり得る。その場合送金し　てたことや扶養関係にあったことが分かるものが必要。

上記①・②の方の状況に応じて、次の１～３のいずれか１つに○を付した上で、必要書類の添付や記載をおこなってください。

1. ①と②は、住民票上同一世帯でした。以下の書類を添付し、生計を同じくしていた

ことを証明します。

ｱ）請求者世帯の世帯住民票と亡くなった方の除票

1. ①と②は、住民票上同一世帯ではありませんでした。以下の書類を添付し、生計

を同じくしていたことを証明します。

1. 請求者世帯の世帯住民票と亡くなった方の除票（必須）

以下いずれかの書類

ｲ） 死亡者と請求者が健康保険等の扶養の関係であったことが分かる書類（健康保険証等の写し　等）

ｳ） 死亡者か請求者が所得税法上の控除対象扶養親族であったことが分かる書類（源泉徴収票、課税台帳等の写し　等）

ｴ） 生活費の一部負担していたことを裏付けることができる書類（生活費、学費、療養費の送金を証明する預金通帳、振込明細書、現金書留封筒等の写し　等）

裏面あり

３． ①と②は、住民票上同一世帯ではありませんでした。 ２．ｲ）～ｴ）の提出ができないため、ｱ）請求者世帯の世帯住民票と亡くなった方の除票、を添付するとともに、以下の項目と、民生委員等の第三者証明を記載し、生計を同じくしていたことを証明します。

（１）別居していた理由を以下に記載してください。

（２）経済的援助の状況について、以下に記載してください。

②（亡くなった方）から①（請求される方）に対する経済的援助（ あり ・ なし ）

経済的援助の回数・金額 （ 年 ・ 月 約　　　　　　　 回程度・約　　　　　　　　円程度）

経済的援助の内容

◎ 上記の経済的援助が「なし」の場合は、以下に記載してください。

①（請求される方）から②（亡くなった方）に対する経済的援助（ あり ・ なし ）

経済的援助の回数・金額 （ 年 ・ 月 約　　　　　　 回程度・約　　　　　　　　　円程度）

経済的援助の内容

（３）音信・訪問の状況について、以下の㋐～㋒に記載してください。

㋐ 音信の手段 （ 訪問・電話・メール・その他： 　　　　　　　　　　）

㋑ 訪問回数 （ 年 ・ 月 ・ 週 ：約　　　　　　 回程度）

㋒ 音信・訪問の内容

第三者による証明欄

上記①と②が、生計を同一にしていたことを証明します。

また、私は①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではありません。

証明年月日：令和　　　　 年　　　　 月 　　　　日 ※ 表面の申立日（記入日）以後に証明してください。

住所

氏名 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

※ 法人（会社、病院、施設等）・個人商店として証明する場合は、所在地・名称及び証明者の役職名と 氏名を記入してください。

奈良市長　様